

# 令和元年度 第3回まちづくり委員会議事録

日時：令和2年1月20日（月）  
午後6時から午後8時まで  
場所：役場2階会議室

## 1 開 会

- ・委員の出席者は9名であり、過半数を満たしているため、本会議は成立となる。
- ・出席者  
委員：長谷川 宏、坂東 康治、植田 勝夫、森部 富士樹、松田 陽子、山前 幸介、  
源津 憲昭、瀬野 乗昭、森居 栄治 ※敬称略 計9名  
特別委員：吉田 恵介 ※敬称略  
事務局：政策調整課 今瀧課長、安藤係長、田野主任

## 2 挨拶

## 3 議 案

### (1) 議題

#### 議題1 第2期 美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について【政策調整課】

- ・これまでの経過として、11月7日開催の第2回まちづくり委員会において素案を確認いただいている。その後、2回目のワークショップを開催した後、それまでの協議経過を踏まえて、企画委員会において原案を作成した。今回は、その原案の確認について協議を進めたい。
- ・今後のスケジュールとしては、1月27日開催予定の議員協議会にて議員に説明を行った後、パブリックコメントを実施する。なお、第4回まちづくり委員会において、パブリックコメント実施後の原案最終版を確認いただく予定であったが、都市計画マスタープランを議題に2月下旬に委員会を開催しなければならないため、原案最終版の確認は3月上旬に書面にてご確認いただくこととなるのでご理解いただきたい。
- ・人口ビジョンの将来展望を事前配布時点から修正したため、資料に修正があるのでご確認いただきたい。 ※資料1-5、人口ビジョン本編の最終頁の差し替え

(委員) 人口ビジョン冊子の農業の部分。17ページの上から3行目、「農業では「70歳以上」が男性で16.5%、…」とあるが、この70歳以上は経営者カウントとなるのか。

→国勢調査の結果から引用している。

(委員) それに関連して24ページにも、高齢化が進んでいる内容が記載されているが、後継者がいれば平均年齢は若返る。そのような計算はどこかに反映されているのか。

→後継者を踏まえての将来推計はしていない。

(委員) 17 ページについて、平均年齢が道内の中で比較的高いとか低いといった話をしているが、パーセンテージはあまり変わっていないので、むしろ業種による平均年齢の違いについて記載してはどうか。

先ほどの委員の話になるが、今頑張っている 40 歳の方々にとって、40 年後に後継者がいるかどうかで将来の人口ビジョンは変わると思う。美瑛町人口ビジョン概要版の将来の人口展望で、40 年後の推計は単に下がっていくと思うが、その時をどうするかは後継ぎや転入の問題になってくる。ストーリーの作り方になるが、単に人口が減っていくことだけではなく、このようなデータを基にして、一体どうすれば青色のグラフにできるのか、もっと人口を増やせるのかというビジョンまで踏み込んでくれると良い。転入・転出の推移は、1990 年代にプラス・マイナスが拮抗してきた。その理由があると思う。それも将来の人口ビジョンを上げるためには大事。右側の人口の現状分析では、年代によって 30 歳前後の人口の転入超過があり、I ターンや J ターンのことが書かれているが、全体的に考察していき、「どこをどうすれば何とかなる」といった、後継者のことを含めて、そのようなストーリー作りをしていただけると将来的に何をすれば良いのか見えてくるのでは。

→17 ページの産業別の年齢構成に関する文章については、平均年齢よりは業種別の割合の差が顕著に表れていることを重点的に記載するよう修正していきたい。

グラフ等の数値を用いて、美瑛町として将来的にどのような取り組みをしていくのかといった部分に関しては、この人口ビジョンで分析をした上で、総合戦略にて今後の 5 年間において進めていくべき取り組みについてまとめさせていただいているため、人口ビジョンにはそれらについての文言が入っていない状況となる。

(委員) 人口ビジョンについて何点か。

22 ページの就業者数について、先ほどもお話があったが、美瑛の産業として「農業」と商工業を含めた「観光業」が重点的な産業と考えた場合に、どこまでとるかではあるが、商工業者に後継者の問題があると聞いているので、このグラフに重なるかはわからないし、文章にも書いてはいるが、グラフに載せてみることで、それを見てみんなが考える効果もあるので、少し工夫したらいかかかなと思ったのが 1 つ。

それと、人口のシミュレーションのグラフが 18 ページと最後のページに 2 つあり、ぱっと見たときに、このグラフは同じように見えてしまうが、中身の意味は少し違うことを解説した方が良いのでは。例えば、18 ページ。オレンジ色は、「子どもを 2 人だけ産んでいっても、これだけしか人口は増えません」と。これは、お母さんが少ないから、いくらたくさん子どもを産んでも人口は増えないといった現象で、それがこのようなグラフになっているということ。それよりも、転出を抑えて転入を増やすといった政策の方が効果的であることがわかるグラフになっている。最後のページは、色々な政策を反映したグラフになる。ブルーのグラフになるように頑張っていくが、町の中のハードや財政はねずみ色の線を見て、きちりやらなければいけないと、私はそのように読み取るが、そのような解説というか、グラフの意味するところを、単なる数字の説明だけではなく、少し書き加えられたら、いきてくるのではないかなと。

→まず、22 ページの就業者の推計について、今回は農業に特化して折れ線グラフを作成しているが、商工業や観光業の推計値に関してもバックデータとしては押さえており、折れ線を追加することで、また違った検証ができてくると思うので検討したい。

シミュレーションについても、18 ページに一度あって、最後にまた将来展望のシミュレーションがあることから、確かにわかりづらくなっているようで、オレンジと青色の差の意味も踏まえた上で本文を修正し、最終ページとの区分ができるようにしていきたい。

(委員) この人口ビジョンはすごく頑張って分析されていて有用なデータが出ているが、24 ページの部分が、総合戦略に引き継いでいく重要なメッセージになると思う。総合戦略を見ると、そんなに課題をきっちり出している感じではないので、人口ビジョンの方できっちり 1 行目に太字で「こういう課題だ」というように、段落全て分かれているが、全てタイトル的にまとめられた方が良いのでは。結局、総合戦略だけしか見なくなるので、きっちりメッセージを出していった方が良くかなと思う。

→24 ページの部分には現状分析と課題ということで文章にまとめさせていただいているが、特に重要な部分については、太字や下線を引くなど、わかりやすく修正していきたい。

(委員) 身もふたもないことを言うので、あまり気にしないで欲しいが。この資料のタイトルは「美瑛町人口ビジョン」となっているが、その内容はあくまでも予想や予測であり、現状から推定される人口推移の予想の域を出ていないと思う。ビジョンというからには、「このようになってしまふからこれをしたい」「これをしたいからこのような施策を考えなければいけない、そのためにこれをしていく」ということがあって、初めてビジョンのようになる。この内容は、そこまでに至っておらず、「このままではこのようになるので、これが問題」止まりで、そこからのことにエネルギーをかけることが、すごく求められると思うので、現状分析にどっぷり時間や予想を費やしてしまうのではなく、この先のことに時間をかけたら良いかなと思うし、このような席でそれぞれの方にお知恵を拝借しても良いと思うし、もう少しビジョンというからには、「このようにしたい」という思惑が入ったものが求められるので、少し参考にして欲しい。

→人口ビジョンは、人口の分析がメインであり、様々なグラフを用いて分析している。流れとしては、この人口ビジョンで分析した上で、次の総合戦略において美瑛町が目指すべき方向を示しており、この2つの冊子を一連で確認いただくことになっている。

この人口ビジョンと総合戦略の整合性を図って作り上げているつもりではあるが、その部分について何かご意見があればいただきたい。

(委員) 24 ページの人口分析のまとめには、現状と課題のどちらも書いてある。先ほどは、太字で表すとのことであつたが、それぞれの段落ごとに課題をはっきりと書いてはかがかと思う。

例えば、最下段であれば税金の問題が生じるということ、その前の段落であれば担い手の確保、さらにその前の段落であれば周辺自治体の圏域としての対応が必要ということ。そのように明確に書くことで、先ほどの委員の意見のように、はっきりとした課題が見えてくるし、それをどのようにしていくかは総合戦略の中で議論すると。現状と課題が一緒になっており、中身はまとまっていて説得力はあるが、一般の人がぱっと見た時に 1 行で課題が書いてあつた方がわかりやすい。タイトルを作つた方が良い。

また、15 ページの産業人口のまとめで書かれていないが、医療・福祉の方々の割合が 10% 以上と高い。これについても、重要な産業であり従事者も多いので、何とか継続していかなければならないと思う。

→分析の中で福祉の分野に触れられる部分は少ないが、確かに 10%以上であり、美瑛町の産業人口の割合として高いことがわかる。24 ページのまとめの中に追記したい。

(委員) 段取りとして、資料 1-1 では 1 月末に議員協議会で議員に報告とあるが、議員協議会で意見があれば、修正がかかっていくことになるのか。

→ご意見があつて修正した方が良い内容であれば、修正をかけてからパブリックコメントを実施する流れで進めていく予定。

(委員) こちらでがっちりとして固めて議員がただ目を通すということではないということか。

→議員には既に資料をお配りしている。

(委員) データについて質問。最後のページのブルーの部分。2060 年に 6,347 人。以前の資料では転入・転出の差が 0。今回は転入者と転出者の差が 36 名と多いのに、なぜ 5,945 人と減るのか。出生数を低く設定したのか。

→出生数について、前は 1.8 にしていたが、今回は社人研の推計に合わせて 1.5 弱くらいに設定している。

(委員) 修正前は 2.07 で見ている。それを低く見たということか。

→そのとおり。

(委員) 施策に対する細かい内容に関してはいつ頃出てくるのか。戦略 1 で言えば①、②、③とあり、その中で小さい○がある。それをもう少し細かい内容というか、これだけではただ謳っているだけになってしまうので、その内容に関してどのように出てくるのかなど。

→ぶら下がる小事業の一覧表はバックデータとして整理しているが、全てを総合戦略に盛り込むことは難しい。今回は、大枠の部分で美瑛町として目指していきたい部分をピックアップして表現させていただいたので、細かい小事業までは掲載していない。

(委員) これは各課でまた出てくるということか。

→各課で予算要求した後に、議会で承認いただくという流れになる。

(委員) この場でいうことが正しいかはわからないが、子どもを安心して育てていく中で、子育て中の人の意見がなかなか吸い上げられていない気持ちがある。例えば、総合体育館や学校の体育館は、少年団活動で多く利用されているが、それに規制をかけるという話が上がってきている。柔道であれば、美瑛町の少年団が他町の少年団と合同の練習を行う場合は、体育館を使用してはいけないとか、サッカーであれば、サッカー少年団は学年ごとの試合があるので、今の段階で旭川の小学校と合同チームの少年団となっている。旭川市では、体育館を使って良いらしいが、美瑛では利用できないとなっているらしい。その辺りに締め付けがかかっており、それでは「安心して子育て」にはつながらないのかなど。そのような意見がなかなか吸い上げられなくて、子育てしている人たちの話をもっと広く聞かないと。

一つ一つの項目を見た時に、一般の人は理解しづらいのかなどと思い、我々が見ると何となくわかるけど、これはどういうことなのかと僕らが聞かれたときに応えられないことがいっぱいある。この会（まちづくり委員会）からあげて、僕らがこれに出てるから、身近な人に

聞かれたときに、書いてあるとおりでよとしか説明できないことが悔しく思うことがある。かたちだけで文章ができてきているのかなど。送られてきたときにそう思った。

→小・中学生の部活動、クラブ活動について、美瑛町の中ではかなり人数が減ってきており、存続も難しくなっているため、合同練習をしたり、合同チームにより大会に参加したりしていることもあると聞いている。その中で、美瑛町の施設が使えないという事実は認識していなかったもので、担当課に確認した上で回答させていただく。

重点項目の内容について、この資料には掲載していないが、ぶら下がる小事業の一覧表を別途作成しているのので、それを確認していただくことで、この項目にはこのような小事業が含まれているということがわかる。ただし、予算査定の段階であり、公表することはまだできない。

(委員) 製造業、建設業などでは人手が足りない課題がある。他の地域から雇用し、町内に転入することによって受けられる特典の一覧があれば良いのかなど。木材の製材工場には旭川から通っている人も多く、美瑛に家族で引っ越してくるメリットがないとのこと。美瑛にも支援制度はたくさんあると思うので、そのようなものを一覧にして、各企業に配るくらいの気持ちがあっても良いのかなど。

→例えば、子育て支援に関しては、既存の支援に関して一連の流れをまとめた資料はある。

(委員) 一つ一つの部門に関してあることはわかっている。

(委員) 転入者に対する手引きのようなものはないのか。美瑛町ではこのような補助やサービスがあると行ったもの。

→移住者に対しての助成制度等をまとめた冊子はある。

(委員) それを企業に渡さなければ、なかなか反映されていかないのかなど。受け入れる側として企業にもあれば、人手不足解消の何かにもなる。難しいものではなく、少し簡素化して。

(委員) 今の話に関連して、戦略1「地域産業の活性化による雇用の場を生み出す」の中で、基本方針、基本的な方向が4行ほどで書かれている。3行目の辺りで「農業と観光業の連携による相乗効果で、町内産業の一層の活性化を図るとともに…」とあるが、「活性化を図り」で一度文章を切り、そのためには「情報発信をする」とか、「町外企業や大学と連携をする」とか、「ともに」というところで文章が流れてしまっているが、アピールをしなければならないということを重要視すべきだと思う。確かに、具体的な施策の中に色々なアピールは書かれていると思うが、基本的方向の3行目から4行目にはそれが反映されていない。逆に、「大学との連携」と書かれているが、大学連携は文章の最後のところに少し書かれているだけであるから、この3行目の末くらいから4行目にかけて、情報発信に係る内容を加えてはどうか。それから色んなところと連携するというように、3行目までを充実させるために、4行目があるといった構成にすることで、先ほどの委員のお話も当然施策として含まれることになるのではないかと思う。

→町内の活性化を図りつつ、その後どのように情報発信をしていくかにより、移住のハードルも下がって来るという考え方になってくると思うので、情報発信の方法に関して工夫は必要かもしれないが、文章の内容については変更させていただく。

(委員) 13 ページの③で「まちを担う人材の育成…」とあり、具体的な施策として「まちの将来を担う後継者の育成支援」が最後になっているが、むしろこれが最初にくるべきではないかと思う。

→そのとおり。重点事項も優先順位の高いものを上から順に並べているため修正する。

(委員) 先ほどの人口ビジョンも含めて骨子になると思うが、本編は町民に全て公表されるのか。

また、具体的な事業に関しては予算と関連付けてという話であったが、一般の方々がそれを知る機会はあるのか。

→来月開始予定のパブリックコメントにて町民の方も本編をご確認いただける。また、来月号の広報にも策定経過等の記事を掲載する予定でいる。パブリックコメントを経て原案が確定した際には、ホームページ等で公表することとしており、その旨についても再度広報にてお伝えする予定ではある。

(委員) 一般の方が興味あるのは、原案云々よりも町としてどのようなことに予算措置をして、どのようなことを具体的に実施するということだと思うが、そのような場面で確認することができるということか。

→4月号の広報では、新年度予算の関係について公表することになると思うので、それに合わせて総合戦略の策定についても公表することで、ある程度興味を持っていただける人は増えるのかなと今感じたところにはある。

(委員) 戦略1～4の基本的方向に関して、4行から5行書いてあり、もっともらしいことが書いてあるが、今まで色々とうまくいかなかった部分を何とかしようとしているわけであり、今までできていないことを変えるために、新しく何をしていくのか、なぜこの数値を選んだのかと。人口減少により最も影響を受けるのは就業者数で、これをきっちり見ていく必要がある。この4行くらいの中に、そのような最も大事なことを書いた方が、基本的な戦略の考え方として良いのではないかと思う。ここに書いてあることは全部わかるが、だから何といった感じになる。新しくこれから何を換えようとしていくのか、そのようなことを表現できないかなど。時間の関係はあると思うが。農業の人口が減っていくことや後継者不足はいつも言っていること。何かを換えなければならないというのがあるのかなど。それが1つ。

戦略2にしても、なかなか転入と転出の差を0にできない。それがなぜなのか、もう少し色々分析された内容を書いて、それができないので関係人口をもってきたという。関係人口を増やしたから、出入りが均衡するというのはあまりわからない。どこにも証明はない。関係人口のことばかり書いているが、もう少し工夫できないかなど。せっかく良い分析ができていたので。特に、どうしてこの目標値なのか。結構企画委員会で議論されているのではないか。この目標値が一番大事ということを説明されてはいかがかなど。そうすれば、説明する時にも、これだからこの数字が必要なんだと、町民にもわかりやすい。そのように思った。

→目標値の設定根拠を並べると同時に、過去の経過はこうであったということを置き、目指していく方向を文章として入れるような流れに修正していく。あまり文章が長くなってしまおうと今度は読みづらくなってしまおうので、その辺りも意識していきたい。

(委員) 新しい考え方で延人口という考え方が出てきている。何か良いことがあると思うので、後で説明して欲しいが、読みたい人は読みたいと思う。この数字はどのようにして出しているのか。うるさいので、どこか別のところに、下の方に書くとか、そういった点も工夫されてはどうかと思った。小さい字で、読みたい人が読んだら良いというように。

→算出根拠について、文章の下に小さく特記事項のように追記したい

(委員) 基本的方向の中身は良いと思うが、一般の方がぱっと見た時にわかるのは1行とか、キャッチフレーズなどがあると読みやすい。その理由はその後に文章で書いているという具合に。6～7行を読み取るのはなかなか大変で、例えば戦略2には2つの段落があり、1つは「通年で滞在型をもっと増やそう」ということが書かれていて、もう1つは「関係人口を重要視していこう」ということが書かれている。この言葉が良いかはわからないが、そのようなことが上段で少し触れられていると、名詞やキーワードだけでも良いと思うが、面白そうだから読んでみようとか、今までとは違うなという感じになるのではないかと思う。やっぱり少し長すぎる。これを全部読んで理解するということは大変かもしれない。

→大項目の下にキーワード的な中項目を設定した上で、気になる部分をメインに読んでいただくようにした方が良いということか。

(委員) そのとおり。キーワード的な層を入れて、それが小さな文節なのか、キーワードとなる名詞なのか。そのような頭出しみたいなものがあると、先ほどの委員が意見されたことも解決できるのかなと感じる。

→サブタイトルやキーワードを付けて整理していきたい。

(委員) 各戦略の中で、戦略1であれば①、②、③とあり、それぞれに7～8項目があるが、優先順位などはあるのか。

→見た目として、優先順位が高いと考えられる内容は上の方に配置しているが、厳密に議論したものではなく、具体的施策のように、町民ワークショップを開催して優先順位を付けるといった作業は行っていない。

(委員) 例えば、戦略1②について、概要版では「町内産農畜産物の高付加価値化」が書かれているが、本編では「町内産品を活用した6次産業化への支援」から始まり、2番目に「高付加価値化」が書かれている。何か優先順位のようなものがあるのかなと思い、聞かせていただいた。

→概要版にピックアップした項目に関しては、優先順位の高いものをピックアップした意識はあるが、総合戦略の本編の優先順位については、そこまで優先順位を意識しておらず、項目だけを表現したというところに留めている。

(委員) それでは、施策を展開する際に、その優先順位が決まってくるということになるのか。

→第1期の総合戦略においては重点項目がなく、全て文章で表現するようなかたちとなっており、なかなか読みづらい部分があった。具体的施策に出てくる文章については、必要最小限の文章に留め、重点項目として重要な事業を拾い上げる流れに変更した中で記載したまどとなる。

(委員) すごくわかりやすくなっていると思うが、1つの項目に7～8つあると全体では相当な数になってくる。そこで優先順位とか、当然予算の配分もそこに出てくるので、どこを中心に焦点を絞ってやっていこうという意図があるのかなと思った。

(委員) 今のお話について、色をつけたり、枠を付けたりすると、ビジュアル化といって、割とわかりやすくなる。こちらの総合戦略を町民に見せるのであれば、先ほどのキーワードを色を変えて大きく出すとか、今までの経過は小さめに書いて、方向性として①はこれで、②はこれでといった具合に。施策に関しても、優先順位でなければ、例えば枠で囲って少し位置を右側の方にずらすとか。そのようにすれば見やすくなるし、これは優先順位ではなく1つの事例だなど、そのような誤解が少なくなるのかもしれない。

→重点項目の内容については、どれも重要な事業をピックアップしているため、現状として最優先の事業を決めることは難しい状況。表現方法に関して、枠を付けて位置を変えるなど、見せ方を検討していきたい。

(委員) 見やすくするアイデアを少し。数値目標と①、②、③のKPIが全部ブルーであり、どれも上位か見にくいので、色を変えたらどうかというのが1点。また、重点項目が7つくらい並んでいる中に、新事業であれば「New」と印をつけた方が、何か色々と新しいこともやっているといった感じにもなり、良いのではないかと思う。

→修正していきたい。

(委員) 概要版は最終的に公表されるのか。

→本編と一緒に公表する予定。

(委員) 概要版は戦略1から戦略4にかけてストーリーになっていると思うが、戦略3の「若者が仕事を心得活躍できるよう…」といった内容は戦略2に謳われていて、そして下につながっていくという感じか。

→連動してくる話であり、前回の総合戦略からは順番を入れ替えている。今回は、仕事を地域につくり、その後ひとの流れができて、子育て環境を充実させていかなければならないといった、国の総合戦略のストーリーと同じになるように組み換えさせていただいた。

(委員) 全体を見させていただいて、若者の仕事の間を用意するといった戦略は書かれているが、人口ビジョンでも圧倒的に65歳以上の人口が増えていく。65歳以上のシニア層の活躍の場をどのように考えているか、箇条書きでは残されているが、資料1-5の「高齢者事業団会員登録者数」では、高齢者事業団に加入できる層は増えるが、目標値として平成26年の数値を下回るようになっていく。このようなデータを見ると、シニア層の方はどのように考えられているのかが気になったので、シニア層の活躍の場も謳われていると、向こう何十年かの戦略としていかせるのではないかと個人的に思った。

→総合戦略を考える中で、どのように美瑛町の人口を維持していくのかをメインに考えている。まずは、仕事があり、若い人がいることをメインに書かせていただいております。戦略4(22ページ)にて若干ではあるが、町民参加の促進や生涯活躍のまちづくりとして、高齢者層の生きがいや福祉について触れている状況にある。ただし、戦略1、戦略2では、シニア層に触れていないので、盛り込める部分がないか検討していきたい。

(委員) 医療・福祉については、枝分かれして高齢者福祉計画にて詳しく謳われるということか。



→保険福祉課で策定している計画になると思うが、そのような様々な計画が紐づく中でも、総合戦略の位置づけはかなり高いものになる。本文の中で福祉計画の内容も謳えるのか検討していきたい。

(委員) 9ページのPDCAサイクルに関して、PDCAサイクルは早く何回もまわす必要があるが、前は5年に1回まわしたことになっており、もう少し何回かまわすことを考えた方がよい。これをやったから全部うまくいくということは誰にもわからないので、その中で勇気をもって効果のないものは新しいアイデアに変えていくという見直しを。1番良いのは毎年、今回は大分時間をかけて5年間分を行っているが、日常のルーティンの中でまとまるようなものがあれば良いのかなと思うので、その見直しについて少し書かれたらよいのかなと思った。

→毎年、まちづくり委員会にて報告させていただいている事務事業評価について、来年度からはKPIを設定した中で毎年度更新をかけていく評価方法に変更していく。その内容について本文の中で触れさせていただき、基本的にKPIを設定できる小事業について、毎年度数値で検証していく作業を実施していきたいと考えている。

(委員) それぞれの戦略に対して①、②、③と施策があり、さらに重点項目として具体的な戦略が記載されているが、それが数値目標につながるのかどうかが見えにくい。12ページの戦略1(3)①の最初の重点項目には、「起業・開業を目指す人への支援」とあるが、ここにはどのような支援をするのかが書かれていない。全部書き出すともものすごい資料になるので、とてもでないということになるし、片っ端から全部やるのかといった問題もあると思う。資料自体の完成度にこだわってしまう部分もあると思うが、実現するためのアプローチというか、実際に何をやるのかといった部分が見えにくい。もちろん全部を見せようとするともすごいことになると思うので、そこは取捨選択で重要度に応じてということになると思うが、ある程度は数値目標につながるための部分的な深堀りが必要になると思う。きれいな資料としてわかりやすく、飲み込みやすいストーリーに仕上げるのと同時に、実際に「これをやることで、このようになるんだ」ということを少し盛り込まないと、悪く言うと「絵に描いた餅」で、「絵」にこだわり過ぎてしまっているのかなと感じる。

また、引っかかるのが、13ページの②に「オーバーツーリズム問題」を記載している中で、17ページには「観光入込客数を増やす」ことが書かれている。オーバーツーリズムでありながら、まだ増やすということに関して全然整合性がないということもあり、全体が1つの流れになっているようで、案外なっていない部分もある。農業と観光の連携が書かれている中で、この辺りの内容は美瑛町としては割と重要課題になってくると思うので、もう少し詳しい説明が資料にあっても良いのかなと思った。参考までに。

→数値目標と重点項目のつながりということで、数値目標に直接結びつきにくい項目もあるが、これについては、交付金等の資料として総合戦略が用いられることがあるため、幅広く掲載している面もある。

重点項目に対するアプローチ方法について、この1行でどのようなことに取り組んでいくといったストーリーが見えづらいというご指摘は確かにそのとおりであり、この部分をさらに深堀りしていくには、それぞれに特化した別冊の資料が必要になると感じている。今回は、

総合戦略を全面的に改訂しているが、今後についても必要に応じて改訂を検討していきたいと考えているので、施策を展開していく中でどのようなアプローチ方法が良いのかという部分が見えてきた段階で、改訂版の中に謳えるように検討していきたい。

また、農業と観光業に関して、観光客を極端に増やしていくのはどうかということであったが、例えば、戦略1②の重点項目に「農業と観光の連携強化」や「観光基本条例の策定」についても記載させていただいている。ただ単に観光客を増やすだけではなく、どのように美瑛町の観光の現場を作っていくのか、受け入れ態勢を整えていくのか、ということが重要と認識しており、その部分を踏まえた上で、今回重点項目に入れさせていただいており、オーバーツーリズムの問題については、この戦略の中では詳細に記載していないが、観光マスタープランやその他の計画で細かく謳っていくものと思っている。

(委員) 観光客の数を増やすのではなく、戦略1にも書かれているように、「滞在時間を増やす」という内容であれば、オーバーツーリズムの影響は少ないと思う。やはり一見さんが来てすぐ帰られるよりは、デパートと一緒に長くいることで色んなお金を落としてもらえるので、「滞在」という言葉で整理するのも良いのではないかと思った。

→再度観光に関連する部分を読み返して、できるだけ美瑛町に長時間滞在していただきながら、より良い観光をしていただけるような内容に修正していきたい

(委員) あまり気にしないで欲しいが、先ほどの説明の中で、この資料は国から補助金をもらう資料でもあるからという説明であったが、それではまちづくり委員会で審議する内容ではなくなってしまう。それは、対補助金チームやプロフェッショナルな方々でやっていけば良くて、具体案を作るために別枠の資料が当然必要ということは、もちろん全部やればそうだとは思いますが、あまりにも今のこのままの状態では浅いというか、いくら優先順位を付けたり、色を付けたり、言葉をマーケティングしても、それだけしかないというのか。連携を図るとか、支援をするにも、どのように連携するのか、支援するのが何もないのでは説得力がないので。網羅ではなく一部一部、強弱というか、ごく一部で良いから掘り下げた内容を加えた方がわかりやすくなるという参考意見。

(委員) 基本的にはまちづくり委員会の位置づけになる。これ(計画)を作るためにあった方が良くのかもしれないが、従来であれば、次年度の町予算などについても議論していた。今年は選挙があってスケジュール的に一切見る機会がなく終わることになると思うが。

以前は、プールやどんぐり保育園の設計図に対して意見し、具体的に反映されているかは別として、色んな人から意見が出てきた。今年に関しては、一切そんなことをやる暇がないから、スルーして町予算は終わるんだろうけど、このようなこと(計画の策定)をメインにやるのか、今言った話で言うと、この後どこかで紐づけされた予算案が出る際に、色んな分野から町民が集まっている中で、従来の流れのように具体的事業に対して意見を反映させるのもまちづくり的なことだと思う。

広く集めて、本当にプロフェッショナルだけじゃない人たちも集まっているわけだから、そこの位置づけがなんか、今年は特にだけど。すごく重要なんだろうけど、こういう骨子の案を作っていくと、さっき言った本当の予算案、具体的な案の方には多分携わらないで終わる。そのため、今みたいなことを思ったりするのが出てくるのかなと。私も、今年は特に感

じている。細かいことについて一切話をしなかったなど。だからそういうことをした方がよいような、今集めている人材が各業種別に何人かだけど、前回は良い悪いじゃないけど、前回は町のおばちゃんみたいな人が、「街路樹がどうだこうだ」などといった意見を出す中で進めていた。それが良い悪いとの判断はできないが、そのような具体的なことが、もっと身近にできるのかなど。

まちづくり委員会は、課長に言わせると1番上の委員会らしいので、こういうこと（計画策定）もやらなければいけないだろうということだから。この場で骨子だけやるとか、予算付けに関連するのであれば、本当に上の方で決めてもらって良いのかな、具体的な部分でもっと意見が反映されるようにというのもありなのかなと思いつつ。事務方も難しいんだろうけど、そこで違和感ではないけど、具体的にこうしたいという際には、この場では言えないという。「そういう場面ではないよね。骨子のところだからね。」とジレンマもある。

この議案については、骨子だからあまり細かいことも謳えないだろうし、都市計画マスタープランでも、あまりしぼりすぎると違うことができなくなるから骨子でしかいけないという話もあるので、そういうことなんだろうけど。なかなか難しいけど。

(委員) 戦略となるとこういう議論しかない。具体的なことを頭に浮かべながら、この言葉を選ぶということなので。他の町でも年に3、4回そのようなことをやれば、ちゃんと資料も用意されていて。ここのまちづくり委員会は割とボリュームが大きいから、それだけでもいっぱいという感じ。これだけのボリュームをやるのであれば、年に10回くらいやらなければいけない。昨年までは具体的なことを出してきたので、町に対して言える場が他にあれば良いけど、ないのであればこのような場面で意見して、それぞれの事業課がどのように対応するのかという方が本当は重要。身近な問題が最も重要で、一辺に全部やってしまうから2回とか3回とかでは少し消化不良気味になっているなど。だから難しい。このような小さなコミュニティであるから、身近な色んな問題について、みんなでわーわー言いながら話して、課題を出して、その後は役所の方でやってくださいというまちづくり委員会もありなのかなと思う。選択になるのでは。

→まちづくり委員会のあり方だと思う。今までのまちづくり委員会のあり方が、正しかったのかどうか立ち返り、各課で作り上げられた案件について議論していただき、既成事実をつくるような委員会が良いのか、ゼロベースから委員や町民の意見を反映した中で1つのものを創り上げる委員会が良いのか、双方の機能を持ち合わせた委員会が良いのか、色々あると思われる。過去には、役場から示された決定事項を審議していただき、結局委員の意見がどこに反映されたのかというご意見をいただいたこともあるので、原点に立ち返り考えた方が良いのかなど。確かに他愛のないまちのできごとを「ああしたらよい、こうしたらよい」とざっくばらんに話し合える場も必要であるし、この委員会自体が今後どのようにしていくべきか検討させていただきたい。今までの間違いだったわけでも、良かったわけでもなく、体制が変わってきたところもあるので、役場の体制も踏まえながら、委員会のあり方について考え直したいと考えている。

(委員) ゼロベースからは難しいと思う。お題があり、それに対してみんなが色々言うと。それでは延々と続くワークショップになってしまう。

→コントロールは必要だと思っているが、町民の方々も自分達の意見に基づいたものが事業化されたとか、計画に反映されることで達成感も出てくるのかなと思う。そんな面倒なことはしたくないと思っている方もいるとは思うが、町民の方が作り上げていく作業は大事にしなければならないという思いはあるので、そのような委員会に徐々に変わっていったらと思っている。今までのような、限られた案件に対してざくばらんに議論するという場も必要になると思うので、少し時間をかけて変えていける部分は良い方向に変えていきたい。

## **議題2 自治基本条例について【政策調整課】**

- ・第1回まちづくり委員会において、自治基本条例の策定に向けた進め方について委員の皆さまから様々なご意見をいただいた。
- ・その後、会長と副会長に個別に協議させていただき、進め方についての基本的な方向性（4項目）を確認させていただいた。
- ・委員に対する個別の意向確認については、別紙のとおり結果となる。
- ・これらの状況を踏まえた上で、自治基本条例の進め方や検討体制について、方向性を決めていただきたい。

（長谷川会長）

- ・ただいま説明があったとおり、事務局と事前に話し合いを行い、このような方向性となった。
- ・皆さんからもご意見をいただき、問題がなければ案のとおり進めていきたい。

～特に意見なし～

（事務局）

今後は、2月のまちづくり委員会までに部会への参画可否を再度確認した上で、メンバーを固めさせていただき、部会に関する規約等を設けた上で、4月以降に検討を進めていきたい。

## **（2）その他**

（委員）町民の意見を色々と聞くということでやっていただけて非常にありがたいが、その中で少し感じていることについて2点ほど申し上げさせていただき、また色々のご検討いただきたいと思う。

まず、まちづくり提案事業について、どのような事業を提案するかという事業提案書のようなフォーマットになっていたが、どのような事業を行うというのは町民にとって難しいという話を何人かの町民の方から聞いている。町民と対話するのであれば、共通項として「どんな問題で困ってますか」「どのようにしたら良いですか」「何か良いアイディアはありますか」というぐらいから聞いていき、それに対する予算については役場でなければわからない部分があるので、もう少し易しいフォーマットに工夫していただけたら良いかなと思う。今回もたくさん意見は集まったと思うが、もう少し意見も集まると思うので。

もう1つは、この間の難しい都市計画マスタープランの町民コメントを私も少し書き、色々「こうなんじゃないですか」、「どうなんですか」という書き方をしたが、そのことに対してちゃんと答えてくれないという印象がどうもある。非常に難しく漠然とした内容で、本当に正しい原則論が書かれているので、一向に反論はできないが、私の書いたことにはどうも答えてもらえていない感じがある。役場の人と町民の人が見ている部分というのは、少し目の位置も違うし、町民の話を「聞いて、訊いて、効いていく」ということであれば、もう少し町民の目線に合わせた町民コメントの回答をしていただかないと、それがまちづくりの記録として残っていくわけなので。そういうことも考えられて「あなたの考えは間違っていますよ」「役場はこのように考えていますよ」の方がはっきりして良いと思う。または、「わかる。わかるけどできないんだわ」と、そのような書き方をしてもらわなければ、難しく書かれてもわからない。そのように思いましたので、はっきり良いのか悪いのか書いてもらい、それから説明してもらった方が、はっきりして良いような気がする。個人の感想であるが、他の人にも色々聞いていただいて…。

(委員) 先ほどの意見に賛成で、女性としては紙の資料が全然頭に入っていない。若者も同じだと思うが。色々携わって経営されている方であれば、このような紙の資料も見れば頭に入ってくると思うが…。

子育てと若者の就労支援の部分だけを見ると、今はSNSがこれだけ普及していて、若者は全てそこで情報を取っているのではないかと考えている。子育てしているお母さんなども、このような場に出るのも難しいし、「どこかで集まりませんか」と言われても難しい。それであれば、お金の面でどれくらいかかるとか、整備できるのかもわからないが、自宅で時間のある時に「こういうことを感じたな」とスマホから意見できるような場面があったら良いなということを感じた。

→町民提案事業については、言い訳にしかならないが、時間のなかで簡潔でわかりやすいかたちで様式を作ったことから、もっと皆さんのざっくりばらんなご意見を寄せてもらえる方法はあるだろうと考えている。今年が最初で最後ではなく、先ほどのようなご意見に基づいて、内部でも議論をしていくので、町民の方が親しみやすい、提案しやすい提案事業の内容となるよう、令和3年度予算に向けてご提示していきたいと考えている。都市計画マスタープランに関しては、建設水道課にも伝えさせていただく。

(委員) お二人の話はよくわかる。役所の人は、役所対住民となると、「どんな意見が出てきて、どんな裁判になるかわからない」といった具合に恐れるので、全国的に玉虫色の答えを出すのが一般的。美瑛町は住んでいる人が都会のように極端な人たちではないと思うが、役所対住民になるとそのようになってしまうので、SNSなのか、ワークショップなのか、または座談会なのかかわからないけれども、そういう別ルートを開発して意思疎通をするのがとても大事というか、1つの方法ではないかと思う。そのチャンネルをどのように作っていくかということで、よく自治体では町長が出てくるのが1つの方法となっているが、そのような別ルートをもっと開発していったら良いと思う。

(委員) お答えいただく必要はないが、今日は7枚ネームプレートが倒れており、予めわかっている欠席率が結構高かったのではないかと思うが、今日しかできなかったのか。

→事前に調整をして、最も出席者数の多い日程としているが、都合が悪くなり本日欠席の連絡をいただいた方もいる。

#### 4 閉会

※副会長の閉会挨拶より

会議の中で15～30分は委員の身近な話題提供に時間を割いて議論すると良いのではないかと。

## 令和元年度 第3回まちづくり委員会議案

日時 令和2年1月20日（月）  
午後6時～  
場所 役場2階会議室

### 1. 開会

### 2. あいさつ

### 3. 議案

#### (1) 議題

・美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について【政策調整課】

・自治基本条例について【政策調整課】

#### (2) その他

### 4. 閉会

### 第3回まちづくり委員会議題（政策調整課）

#### 1 第2期 美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

##### （1）これまでの経過

###### ■第1回企画委員会（7月29日）

- ・第1期総合戦略の実績調査・成果検証の確認
- ・第2期総合戦略の策定に向けた、数値目標及び具体的施策の KPI 見直し作業

###### ■第1回まちづくり委員会（9月30日）

- ・第1期総合戦略の実績調査・成果検証の確認

###### ■議員研究会（10月21日）

- ・美瑛町まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要について
- ・第1期総合戦略の実績調査・成果検証の確認

###### ■第3回企画委員会（10月23日）

- ・第2期総合戦略の素案の作成

###### ■第1回町民ワークショップ（10月30日）

- ・具体的施策の優先順位付け
- ・第2期総合戦略に向けた新たな具体的施策等の検討

---

###### ■第2回まちづくり委員会（11月7日）

- ・第2期総合戦略の素案の確認

###### ■第2回町民ワークショップ（11月22日）

- ・第1回ワークショップの議論を踏まえ、具体的施策等をまとめた全体像を作成

###### ■第4回企画委員会（12月24日）

- ・これまでの協議経過を踏まえ、第2期総合戦略の原案の作成

##### （2）今回の議題

- ・第2期総合戦略及び人口ビジョンの原案の確認

##### （3）今後のスケジュール

###### ■議員協議会（1月27日予定）

- ・第2期総合戦略及び人口ビジョンの原案の報告

###### ■パブリックコメント（1月下旬から2月下旬まで）

- ・第2期総合戦略及び人口ビジョンの原案について、広く町民から意見を募集

###### ■第6回企画委員会（2月下旬）

- ・第2期総合戦略及び人口ビジョンの原案最終版を報告（文書会議予定）

###### ■第5回まちづくり委員会（3月上旬）

- ・第2期総合戦略及び人口ビジョンの原案最終版を報告（文書会議予定）

###### ■公表（3月中旬）



策定業務	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																										
美瑛町人口ビジョンの更新	最新の数値を踏まえた時点修正と人口の将来推計の見直し																																																					
第1期総合戦略の成果検証	庁内各課・企画委員会による検証作業																																																					
第2期総合戦略に向けた課題の整理							企画委員会による整理												町民ワークショップによる検討																																			
第2期総合戦略に位置付ける施策の検討							庁内各課による検討												町民ワークショップによる検討																																			
KPI(重要業績評価指標)の設定							庁内各課による検討																																															
素案の作成													政策調整課にて作成																																									
原案の作成																			政策調整課にて作成												パブリックコメントの実施 原案の修正						公表																	
委員会等	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月																										
庁内各課	第1期戦略の成果検証			第2期戦略に位置付ける施策及びKPIの検討																																																		
企画委員会							第2期戦略に向けた課題と方向性の整理												素案の協議												原案について協議												パブリックコメント等を踏まえた原案最終版の協議											
まちづくり委員会													第1期戦略の成果検証												素案の協議												原案について協議												原案最終版の報告					
町民ワークショップ																			施策の優先順位づけによる検討												施策の全体像を作成																							
町議会																			第1期戦略の成果検証																		原案の報告												原案最終版の報告					
備考	・庁内各課にて第1期総合戦略の成果検証作業			・庁内各課の検証結果を踏まえて、企画委員会にて第2期戦略に向けた課題と方向性を整理			・庁内各課にて第2期戦略に位置付ける施策及びKPIの検討			・まちづくり委員会にて庁内各課及び企画委員会で審議した第1期総合戦略の成果検証について協議			・企画委員会にて素案の協議・町民ワークショップを開催し、町民目線による施策の優先順位を検討			・議員研究会にて、策定経過と第1期戦略の成果検証について報告			・まちづくり委員会にて素案の協議			・町民ワークショップを開催し、戦略に盛り込むべき施策を検討し全体像を作成			・各種協議や町民ワークショップでの結果を庁内各課と共有した上で、改めて第2期戦略に位置付ける施策及びKPIを検討			・企画委員会にて原案の協議			・まちづくり委員会にて原案の協議			・議員協議会にて原案の報告			・パブリックコメントの実施			・まちづくり委員会、パブリックコメントの結果を踏まえて、政策調整課にて原案を修正			・企画委員会にて原案最終版の協議			・まちづくり委員会にて原案最終版の報告			・議員協議会にて原案最終版を報告			・公表		

第1期人口ビジョンからの主な変更点

番号	第1期 ページ	第2期 ページ	項目	見直し内容
	-	-	全体	グラフ等に用いている統計上の数値に関しては、現時点で公表されている内容に時点修正した。
1	P1	P1	地方人口ビジョン・総合戦略の策定の背景	「はじめに」として、第1期の「総合戦略」「人口ビジョン」の策定背景、今回の改訂の目的等について記載した。
2	P2~3	-	美瑛の成り立ちと発展の経過等	美瑛町の人口の将来展望を示す「人口ビジョン」とは、直接的な関係性がない記述のため削除した。
3	P4~9	P2~6	人口動向分析	・総人口と年齢3区分別人口の推移のグラフを1つのグラフに集約して掲載した。
4	P10~15	P7~10	人口の自然増減の要因分析	・【P7、図表Ⅱ-2-2】合計特殊出生率の推移について、2013年～2017年の美瑛町の合計特殊出生率は未公表であるため、比較のグラフは全国と北海道の年間推移のみに修正した。 ・【P8、図表Ⅱ-2-3】出生数への影響が大きい若年層の人口推移に関してグラフを追加した。 ・【P10、図表Ⅱ-2-5】有配偶率の全国・北海道・美瑛町の比較をグラフ化した。なお、有配偶出生率については、各年の出生数に左右されることから年間推移で把握するべきであるが、統計上5年単位での集計しかできないため削除した。 ・アンケートの結果に関しては、今回の改訂に際して調査を実施していないことから記載していない。
5	P16~22	P11~13	人口の社会増減の要因分析	・【P11、図表Ⅱ-3-1】【P12、図表Ⅱ-3-2】男女別の年齢階級別人口移動の推移について、主となる期間を抜粋してグラフ化し、詳細の数値（グラフ表示していない期間を含む）は表にまとめて記載した。 ・【P13、図表Ⅱ-3-3】人口移動の状況に関しては、自治体別に掲載すると移動した人物が特定されるおそれがあるため、特に移動が顕著な地域についてのみ掲載することとした。 ・アンケートの結果に関しては、今回の改訂に際して調査を実施していないことから記載していない。
6	P23	P14	通勤・通学者の状況	・各地域への通勤・通学者数を示すイメージ図（管内図）を削除した。
7	P24~34	P15~17	産業に関する状況	・産業構造の変化に関しては、顕著な地域特性がないため削除した。 ・「農業」と「観光」のそれぞれの状況（農家戸数、観光客数など）に関して、人口推計に関連付けることは難しいため削除した。
8	P35~	P18~21	将来人口の推計と分析	・【P18、図表Ⅲ-1-1】原則として社人研の人口推計に基づき、第1期と同様の条件でシミュレーションを行っている。なお、日本創生会議準拠推計は未公表のため掲載していない。 ・【P20、図表Ⅲ-1-3】年齢3区分別の推計に関しては、社人研における推移のみをグラフとして掲載した。
9	P40~42	P22~23	人口の変化が地域の将来に与える影響の分析	・【P22、図表Ⅲ-2-1】【P23、図表Ⅲ-2-2】本章は、全て人口推計に比例した数値が示されることになるため、地域の存続に大きな影響を与える「就業者数」「税収・納税者」の減少に絞って掲載した。要介護認定者数は特に老年人口との相関が高く、2020年以降は減少に転じていく傾向も一致していることから削除した。
10	P43~47	P24~26	人口の将来展望	・第1期の「美瑛町の将来展望に向けた美瑛町の課題」は、「人口分析のまとめ」として現況分析を中心としたまとめ方としている。 ・【P26、図表Ⅳ-2-3】将来展望に関しては、北海道の人口ビジョンにおける仮定（合計特殊出生率が2030年までに1.8、2040年までに2.07まで上昇し、純移動数は2025年に0（人口移動の均衡）となる。）と同様の仮定で推計した。

第1期総合戦略からの主な変更点

番号	第1期 ページ	第2期 ページ	項目	見直し内容
1	P0	-	町長あいさつ文の削除	・北海道や他自治体の総合戦略を参考に削除した。 ・次年度以降に策定予定の「美瑛町総合計画」の中で掲載する予定。
2	-	P3~4	第1期総合戦略の成果検証を追加	・人口動態の経過に関する文章を追加した。 ・KPIの実績調査や成果検証の文章を追加した。
3	-	P6	SDGsの要素を追加	・持続可能な政策目標として世界で採択されたSDGsの文章を追加した。
4	-	P7	新たな視点を追加	・国の第2期総合戦略に沿って「新たな視点」に重点を置いた施策を推進する文章を追加した。
5	P4	-	各種アンケート調査の削除	・アンケート調査未実施のため文章を削除した。
6	-	P8	町議会の関与を追加	・本戦略の策定に当たり町議会の関与に関する文章を追加した。
7	P5	P10	基本方向の変更	・「4つの戦略」「具体的施策」「人口ビジョン」との関連性を鑑み「基本方向」を見直した。 ・各種委員会での意見を基に見直した。
8	P5	-	基本方向に紐づく4つの展開図の削除	・「4つの戦略」との関連性が不明瞭のため削除し、新たな「4つの戦略」に紐づく「具体的施策」に盛り込む。
9	P6	P10~11	4つの戦略の順序変更	・国の総合戦略に沿って、戦略の順序（しごと→ひと→子育て→地域連携）を変更した。
10	P6	P10~11	4つの戦略に紐づく具体的施策の変更	・町民ワークショップでの成果を基に内容を見直した。 →具体的施策の数を減らすとともに、分かり易い表現に変更した。 →具体的施策に優先順位をつけて表現した。 →人口減少の課題解決を意識した表現に変更した。 ・SDGsとの関連性をロゴで表現した。
11	P7~18	P12~23	数値目標及びKPIに参考値を追加	・過去の経過がわかるように、平成26年度の数値を参考値として記載した。
12	P7~18	P12~23	数値目標	・各戦略で掲げる方向性に沿う数値目標を設定した。
13	P7~18	P12~23	基本的方向	・第1期総合戦略の文章をベースに修正した。 ・各種委員会での意見を基に文章を修正した。
14	P7~18	P12~23	具体的施策	・具体的施策の文言、数の見直しにより文章を全面改訂した。 ・各具体的施策に基づく重点項目を箇条書きにより追加した。
15	P7~18	P12~23	重要業績評価指標（KPI）	・各具体的施策を適切にかつ毎年評価が可能なKPIを設定した。 ・人口ビジョンの人口推計と整合性を図った。

【各戦略における数値目標】

戦略	目標項目	H26(参考値)	R1(基準値)	目標値(R6)	担当部署
戦略1 地域産業の活性化により雇用の場を生み出す	就業者数[人]	3,952	3,980	4,000	政策調整課
戦略2 「丘のまちびえい」に新たな人の流れをつくる	町内人口移動の状況(転入者数-転出者数)[延人(5か年)]	▲ 94	▲ 191	36	政策調整課
戦略3 将来にわたって安心して子育てができる環境づくり	総人口に占める20歳未満人口の割合[%]	15.1	14.2	13.8	政策調整課
戦略4 地域と地域の連携により住民の暮らしを守り美瑛の魅力を発信する	町民提案事業提案延べ件数[延件(5か年)]	0	55	80	政策調整課

【戦略1 地域産業の活性化により雇用の場を生み出す】

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	H26(参考値)	R1(基準値)	目標値(R6)	担当部署
①新たな経済循環を生み出す魅力溢れる働く場の創出	地域産業連関分析による戦略的施策の実現延べ数[延事業(5か年)]	0	0	3	政策調整課
	新規起業延べ件数[延件(5か年)]	68	91	98	税務課
	障がい者の新規就労者延べ人数[延人(5か年)]	0	2	4	保健福祉課
	高齢者事業団会員登録者数[人]	177	156	171	保健福祉課
	町内事業所数[件]	428	430	450	経済文化振興課
	商工業者への経営補助等の実施年間延べ件数[延件]	34	60	70	経済文化振興課
	勤労者共済会加入者数[人]	460	555	600	経済文化振興課
②地域資源をいかしたブランド化の推進	農産物加工交流施設における町内産原材料の取扱量[kg]	10,000	10,000	10,000	農林課
	6次産業化事業認定延べ件数[延事業(5か年)]	0	2	4	農林課
	ビエイティフル商品の認定数[件]	0	18	25	経済文化振興課(活性化協会)
	特産品アンテナショップの年間売上額[千円]	27,085	45,000	50,000	経済文化振興課
③まちを担う人材の育成や、地域外人材との連携による元気な産業づくり	地域おこし協力隊の人数[人]	0	3	4	総務課
	外国人介護福祉人材の育成延べ人数[延人(5か年)]	0	0	10	保健福祉課
	新規就農者延べ人数[延人(5か年)]	56	43	45	農林課
	アグリパートナー成婚件数[件]	9	7	7	農業委員会

【戦略2「丘のまちびえい」に新たな人の流れをつくる】

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	H26(参考値)	R1(基準値)	目標値(R6)	担当部署
①移住しやすい環境づくりと定住につながる戦略の構築	移住・起業・就業マッチング延べ件数[延件(5か年)]	0	0	5	政策調整課
	移住相談件数[件]	50	100	150	経済文化振興課
	セカンドホームびえい年間延べ利用者数[延人]	34	47	60	経済文化振興課
	空き家登録件数[件]	-	4	10	経済文化振興課
	空き地登録件数[件]	-	5	10	経済文化振興課
	バリアフリー等住環境整備補助延べ件数[延件(5か年)]	43	38	40	建設水道課
	鉄道利用促進に向けた連携事業数[事業]	0	3	5	政策調整課
②観光地としての更なる価値向上による「関係人口」の創出・拡大	北瑛小麦の丘体験交流施設年間延べ宿泊者数[延人]	867	947	1,000	農林課
	観光客入込数[人]	1,791,000	2,375,000	2,400,000	経済文化振興課
	宿泊者年間延べ人数[延人]	269,200	285,390	300,000	経済文化振興課
	外国人観光客の宿泊者年間延べ人数[延人]	19,453	40,000	42,000	経済文化振興課
	冬季の観光客入込数[人]	512,000	768,000	806,000	経済文化振興課
	冬季の宿泊者年間延べ人数[延人]	90,000	91,780	96,000	経済文化振興課
	白金地区の観光客入込数[人]	444,600	1,003,000	1,053,000	経済文化振興課
	白金野営場利用者数[人]	2,997	2,700	2,900	経済文化振興課
③企業誘致の促進とふるさとを愛する心の育成	ふるさと納税額[円]	8,901,760	100,000,000	120,000,000	総務課
	企業版ふるさと納税額[円]	0	2,000,000	5,000,000	政策調整課
	景観づくり事業参加者年間延べ人数[延人]	0	54	60	政策調整課
	ふるさと会会員数[人]	552	560	600	経済文化振興課
	「美瑛学」事業満足度[%]	-	-	70	文化スポーツ推進室

【戦略3 将来にわたって安心して子育てができる環境づくり】

具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	H26(参考値)	R1(基準値)	目標値(R6)	担当部署
①子育て世代が住みたくなる仕組みづくり	一時預かり年間延べ人数(幼稚園・保育所)[延人]	—	4,555	4,605	保健福祉課
	こども緊急さぼねっと事業利用件数[件]	—	—	50	保健福祉課
	子ども支援センター利用率[%]	94	77	92	保健福祉課
	児童館利用者数[人]	15,108	15,340	15,033	保健福祉課
②世界に羽ばたく子どもたちの成長を支える教育環境の充実	美瑛高校入学者数[人]	65	53	50	政策調整課
	小学生が将来に夢や目標を持っている割合[%]	82	73	80	教育委員会管理課
	中学生が将来に夢や目標を持っている割合[%]	56	55	60	教育委員会管理課
	土曜学習の参加者年間延べ人数[延人]	—	100	120	教育委員会管理課
	キャリア教育授業回数[回]	—	3	4	教育委員会管理課
	小学生学習ルームの参加者数[人]	55	100	120	教育委員会管理課
③安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる環境の整備	出生延べ人数[延人(5か年)]	319	251	270	住民生活課
	乳幼児健診受診率[%]	95.5	89.7	97.5	保健福祉課
	多世代交流施設年間延べ利用者数[延人]	—	145,300	160,000	経済文化振興課

【戦略4 地域と地域の連携により住民の暮らしを守り、美瑛の魅力を発信する】

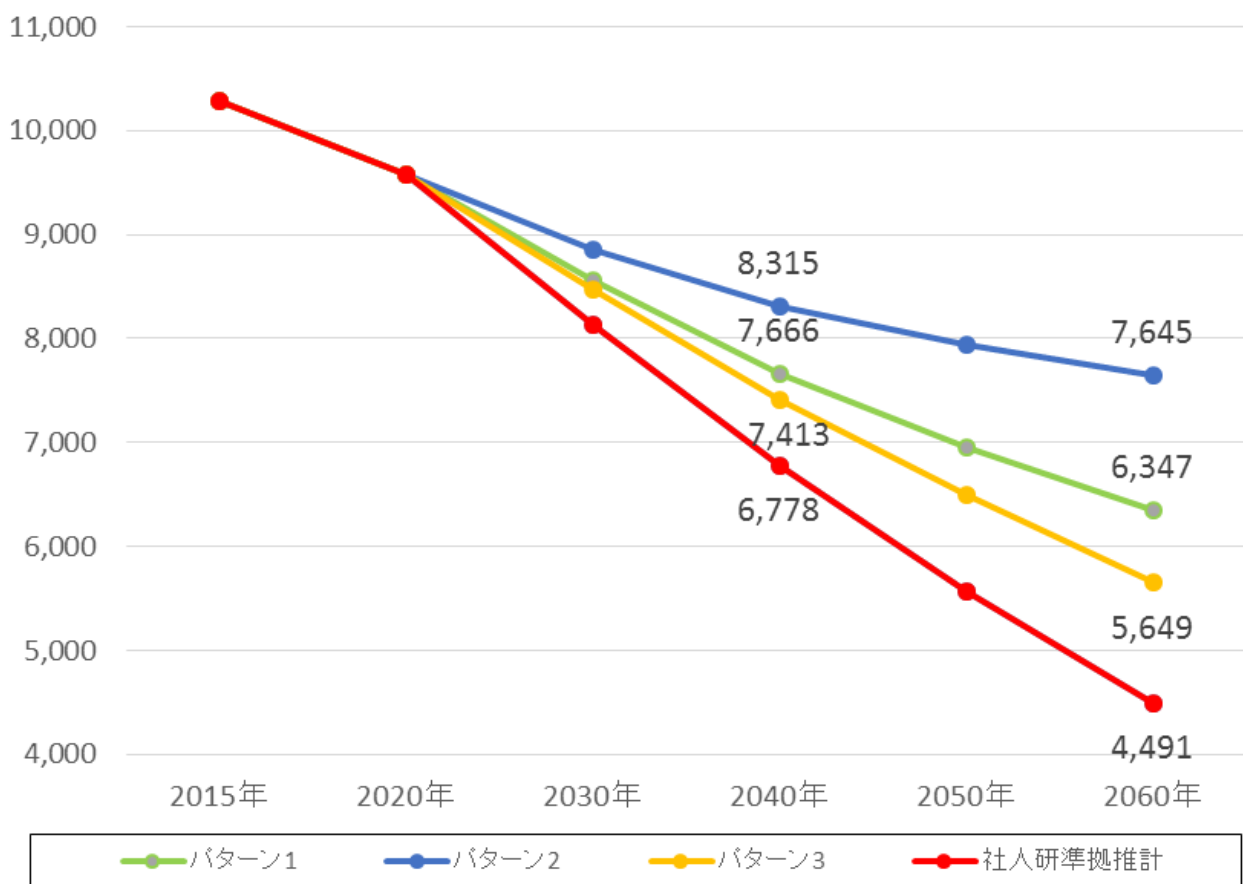
具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)	H26(参考値)	R1(基準値)	目標値(R6)	担当部署
①安心して暮らし続けることのできるまちづくり	自主防災組織の設置数[組織]	0	3	8	総務課
	防災士資格取得者数[人]	0	28	43	総務課
	防災教育関連イベントの開催[回]	1	2	2	総務課
	患者輸送車利用者数[人]	1,520	1,128	1,105	保健福祉課
	町立病院常勤医師の確保[人]	4	4	5	病院事務局
②町民参加の促進と生涯活躍のまちづくり	まちづくりワークショップ延べ参加者数[延人(5か年)]	0	0	60	政策調整課
	高齢者等サロン設置数[か所]	0	7	8	保健福祉課
	障がい者グループホームの設置数[棟]	0	0	1	保健福祉課
	老人クラブ活動団体数[団体]	27	25	27	保健福祉課
	白金線老人交通費助成事業乗車件数[件]	20,912	12,268	12,023	保健福祉課
	ボランティアポイント利用者数[人]	0	0	190	保健福祉課
	新しいスポーツ種目の導入[競技]	11	11	15	文化スポーツ推進室
③地域間連携による持続可能なまちづくり	定住自立圏連携事業数[事業]	9	10	12	政策調整課
	大学連携による事業数[事業]	2	3	4	政策調整課
	美しい村づくり事業参加者数[人]	400	506	550	政策調整課
	美しい村サポーター企業数[社]	65	78	80	政策調整課
	ジオガイド[人]	0	3	5	文化スポーツ推進室
	ジオパーク拠点施設[か所]	0	7	7	文化スポーツ推進室
	ジオサインの整備[か所]	0	11	11	文化スポーツ推進室

## 第2期美瑛町人口ビジョン将来推計シミュレーション

## ●第1期人口ビジョンにおける推計人口

- ・社人研による2040年の推計人口 6,732人  
(今回の社人研推計は6,778人であり前回比46人増)
- ・2040年の将来展望人口 7,981人  
(20～39歳の各年齢層(5歳毎)の男女が毎年2人ずつ増加、  
40～59歳の各年齢層(5歳毎)の男女が毎年1人ずつ増加、  
60～64歳の男女が毎年2人ずつ増加 = 毎年28人ずつ社会移動で増加する想定)

## ●国のワークシートに基づく人口推計結果



	シミュレーション設定
社人研準拠推計	人口ビジョン参照
パターン1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計特殊出生率が2030年に1.8、2040年に2.07を達成し、その後も継続と仮定</li> <li>・2025年以降、転入と転出は均衡すると仮定 <b>※北海道ビジョンと同条件</b></li> </ul>
パターン2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合計特殊出生率が2030年に1.8、2040年に2.07を達成し、その後も継続と仮定</li> <li>・2025年以降、第1期人口ビジョンの将来展望の人口移動を仮定</li> </ul>
パターン3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出生率は社人研準拠推計に同じ</li> <li>・2025年以降、転入と転出は均衡すると仮定</li> </ul>



## 自治基本条例（仮称）の進め方と検討体制について

### 1. これまでの協議経過について

第1回まちづくり委員会において、自治基本条例（仮称）の策定に向けた進め方に対し、委員の皆さまから様々なご意見をいただきました。

その後、会長・副会長との協議を経て、次のとおり進め方の方向性について確認させていただきました。

#### 【進め方（案）】

- ・まちづくり委員会は条例の策定母体とする。
- ・まちづくり委員会に専門部会を新たに設置する。
- ・専門部会が条例制定に向けた具体事項の検討を行い、検討した内容はまちづくり委員会に報告し審議する。
- ・まちづくり委員会の審議を経て、最終的に完成した条例案は、通常の手続き（パブリックコメント⇒議会提案⇒議会審議⇒議決）により施行を目指す。

### 2. 個別の意向確認結果について

上記の経過を踏まえ、第2回まちづくり委員会の際に、「進め方の方向性」と「専門部会への参画の可否」について、委員の皆さまへ個別に意向確認をさせていただきました。意向確認の結果については下記のとおりです。

#### 【意向確認結果】（全委員 17 人、※特別委員を除く）

##### ①進め方の方向性について

賛成：11人、反対：4人、どちらとも言えない：2人

##### ②専門部会への参画の可否について

参画できる：8人、参画できない：6人、どちらとも言えない：3人

### 3. 専門部会の設置について

「住み良いまち美瑛をみんなで作る条例」第22条第2項の規定に基づき、まちづくり委員会には専門部会を設置することができます。